



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

# 嘉手納町 教育委員会だより

令和8年4月発行 嘉手納町教育委員会



## 「いい学校」を、町のみんなで。～子どもたちが激動の時代をたくましく歩むために～

嘉手納町の未来を担う子どもたちの学びと成長のため、日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。現在、社会はかつてないスピードで変化し、予測困難な時代を迎えています。このような「激動の時代」において、子どもたちが自分らしく、たくましく人生を切り拓いていくために、嘉手納町教育委員会では「二つの大きな柱」を軸とした教育改革を力強く進めてまいります。

### 1. 皆様の「声」を力に——顔の見える教育行政の推進

教育の主役は子どもたちですが、その学びを支える土台は、保護者や地域住民の皆様との揺るぎない信頼関係にあります。私たちは、皆様が抱く期待や切実な願いを真摯に受け止め、迅速に施策へとつなげる「民意を反映した教育行政」を最優先に掲げています。行政と地域が「対等なパートナー」として対話を重ね、顔の見える関係を築くこと。この温かなつながりこそが、子どもたちを地域全体で見守り、育む豊かな土壌になると確信しております。

### 2. 理想の姿「いい学校をつくりましょう」の追求

本町が掲げる教育の合言葉は、シンプルですが本質的な「いい学校をつくりましょう」という言葉です。私たちが考える「いい学校」とは、子どもたちが自らの可能性にワクワクし、主体的に学びを深められる場所です。その実現のために、次の二つの視点を大切にします。

#### 【かでな型学力の育成】

- ・自ら一步を「前に踏み出す力」、最適解を「考え抜く力」、そして多様な仲間と「チームで働く力」。
- これら三つの力を、日々の授業や教育活動を通して着実に育みます。

#### 【ウェルビーイング（幸福）の実現】

- ・子どもも教職員も、一人ひとりが尊重され、「ここでは自分を出しても大丈夫だ」という心理的安全性を感じられること。心満たされる環境の中でこそ、人は自らの力を最大限に発揮できると考えています。

嘉手納の子どもたちは、私たちの「宝」です。私たちはこれからも歩みを止めることなく、町民の皆様とともに、日本一の「いい学校」づくりに邁進してまいります。今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

嘉手納町教育委員会 教育長 浦崎直哉

## 子どもたちに身に付けさせたい資質・能力（「かでな型学力」）

嘉手納町の学校教育では、人生100年時代の社会人基礎力を「かでな型学力」と定義しています。

#### 前に踏み出す力(アクション)

一步前に踏み出し、  
失敗しても粘り強く取り組む力



主体性

働きかけ力

実行力

#### 考え抜く力(シンキング)

疑問を持ち、考え抜く力



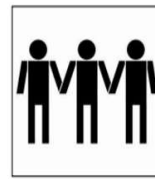
課題発見力

計画力

創造力

#### チームで働く力(チームワーク)

多様な人々とともに、  
目標に向けて協力する力



発信力

傾聴力

柔軟性

状況把握力

規律性

## ご入園・ご進級・ご入学おめでとうございます！～町中に笑顔があふれた春～

4月9日に町内の小学校と中学校で入学式、10日に町立幼稚園で入園式及び進級式、嘉手納外語塾で入学式が行われ、嘉手納幼稚園 87名、屋良幼稚園 47名、嘉手納小学校 94名、屋良小学校 51名、嘉手納中学校 165名、嘉手納外語塾 15名が新しい学校生活のスタートを切りました。(広報かでな)

### ●屋良小学校



### ●嘉手納小学校



#### 【小学校：教育委員会式辞の概要】

教育長（教育長職務代理）は式辞で、新一年生へ「自分でできることにどんどん挑戦しよう」と語りかけました。勉強や準備、係の活動など、自分から一歩踏み出し、仲間と協力してできることを増やす大切さを伝え、「困った時は先生や先輩が助けてくれるので、安心してチャレンジしてほしい」と力強く激励。保護者へは、この挑戦を支える「かでな型学力」を共に育み、町全体で地域の宝である子どもたちを支えていく決意を述べました。

### ●嘉手納中学校



#### 【中学校：教育委員会式辞の概要】

教育長は式辞で、新入生へ「自立した学習者」として二つの力を磨こうと呼びかけました。一つは、思いやりを行動に移す「心打つ振る舞い」。もう一つは、不屈の精神で困難を「やり抜く力」です。保護者へは、温かい言葉の「ボイスシャワー」でお子様を支えてほしいと伝え、町も給食費無償化などの支援を通じ、ご家庭と共に「地域の宝」の成長を全力でバックアップしていく決意を語りました。

## ●屋良幼稚園



## ●嘉手納幼稚園



### 【幼稚園：お祝いのことばの概要】

教育長（教育長職務代理）はお祝いのことばで、園児へ『やってみよう！』にどんどん挑戦し、キラキラの笑顔を見せてね』と優しく語りかけました。新入园児には、ワクワクする気持ちを大切に元気いっぱい遊ぶよう伝え、進級児には、年下の子を助ける頼れる存在になることへの期待を寄せました。保護者へは、社会（集団生活）への第一歩を歩み出す子どもたちを園と家庭で共に支え、町の宝である一人ひとりの可能性を全力で育てていく決意を伝えました。

## ●嘉手納外語塾



### 【塾長メッセージの概要】

塾長（教育長）は式辞で、新入生へ「英語は未来を切り拓く道具に」と呼びかけました。嘉手納の先人、野國總管の精神を受け継ぎ、実践的な語学力に加え、沖縄の文化や歴史を学び「揺るぎない自己」を確立する大切さを強調。この2年間を人生のターニングポイント（転換点）とし、失敗を恐れず挑戦してほしいと激励しました。保護者へは、講師・職員が一丸となって目標達成を支える決意を伝え、学生の可能性を広げる教育への協力を呼びかけました。

### 【来賓祝辞（外務省沖縄事務所・紀谷昌彦大使）の概要】

紀谷大使が「嘉手納外語塾での出会いやご縁、そしてこれから積み重ねていく経験を大切に、先輩や仲間たちと学びのバトンをつないでいくことを楽しみにしています」と祝辞を述べました。

## 読谷高校ソフトボール部、男女そろって県大会制覇！

4月22日、県春季大会で見事アベック優勝を果たした読谷高校ソフトボール部の皆さんが、町長、教育長を表敬訪問しました。今大会、女子は3連覇、男子はなんと9連覇という圧倒的な強さで頂点に立ちました。町長からは「相手を寄せ付けない素晴らしい戦いぶり、今後もトップを目指してほしい」と、その栄誉を称える激励の言葉が贈られました。女子主将の大城さんは、「チームワークを武器に、九州大会ではベスト4以上を目指したい」と力強く抱負を語りました。競技人口の減少という課題に直面しながらも、直向きに白球を追う選手たち。更なる飛躍を期待し、町全体で応援しましょう。



## TOFUプログラムへ参加、嘉手納の若者がアメリカで学びました！

外務省主催の「アメリカで沖縄の未来を考える(TOFU)プログラム」に、本町から嘉手納外語塾2年の仲宗根萌さんと、同塾卒業生で名城大学1年の塚島剛介さんが参加しました。この事業は、沖縄の未来を担う若者が米国を訪れ、安全保障や沖縄の現状をグローバルな視点で学ぶものです。二人は3月18日から8日間、東京やワシントンD.C.、ニューヨークを訪問。日米の政府要人や国連関係者との意見交換、現地学生との交流を通して見聞を広めました。帰国後、二人は「外交は個人同士の関係から始まると痛感した」「若者の声を届ける団体を作りたい」と力強く語りました。世界を舞台に成長した二人の、今後の活躍が期待されます。



## 新一年生の安全を守る！「いかのおすし」クリアファイル贈呈

4月7日、嘉手納地区防犯協会と嘉手納警察署から新一年生へ「いかのおすしクリアファイル」が贈呈されました。このファイルには、児童が犯罪から身を守るための5つの約束「行かない・乗らない・大声で叫ぶ・すぐにげる・知らせる」が分かりやすく描かれています。浦崎教育長は地域の支援に感謝し、防犯意識の向上を図っていくことを述べました。ご家庭でも安全について話し合うきっかけにしてください。



## 伊礼組より人材育成基金へご寄附！

4月30日、有限会社伊礼組様から「町の将来を担う人材育成に役立ててほしい」と、嘉手納町人材育成会へ100万円のご寄附をいただきました。町役場で行われた贈呈式で、伊禮朝昭社長は「会社の利益を町に還元し、貢献したい」と述べられ、當山町長は「子どもたちのために大切に活用します」と深く感謝を伝えました。町の宝である子どもたちの教育環境向上のため、貴重な浄財として活用させていただきます。

